

## 何回も同じことを聞かれる

⇒根気よく、何度でも同じ返事を繰り返しましょう

### 【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

認知症になると、**記憶力**（見たり聞いたり、行ったり、体験したことを思い出す能力）が低下します。そのため、同じことを何十回と繰り返しても、その都度忘れて、初めてのつもりで同じことを聞きます。

また、認知症になると、**見当識障害**（時間や場所、人物の見当をつけ、自分の状況を理解する能力）が起こります。そして、話した内容だけでなく、話をしたという事実そのものを忘れます。認知症の人は、あくまでも**毎回初めてのつもり**で話しているのです、指摘しても意味のないことです。

### 【 対応方法 】

①記憶障害は認知症の最大の特徴だと理解し、**認知症の人が必要としている情報を伝えましょう**。そうすることで、本人が自分の状況を把握して、安心することに繋がります。たとえすぐに忘れたとしても、穏やかに**根気よく、何度でも同じ返事を繰り返す**ようにしましょう。

②二度や三度なら我慢するとしても、何度も同じことを繰り返して答えるのは、ときには、耐えがたくなることもあるでしょう。そんなときは、**話題をそらしてみましょ**う。

そうそう、さっきテレビで〇〇のことってたよ

③ストレスが溜まってしまう場合は、**認知症の人の側を離れて**、気持ちを落ち着かせることが必要です。もし他の家族に、**対応を代わってもらう**ことができるなら、お願いしましょう。

④**介護保険が利用**できるなら、一週間に一度でも、デイサービス等を利用しましょう。認知症の人が家にいない間、リフレッシュして気分転換をはかりましょう。



チェック表をつくるなど、口で答えるだけでなく、いっしょに確認できる方法を考えましょう。

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P56-57

認知症の人と家族の会, 認知症になった家族との暮らしかた, ナツメ社, 2018, P60-61

2022.6作成